



初雁中だより

第 1 号

令和5年4月10日(月)

学校教育目標	初雁中の目指す姿
学びあい	◇目指す学校像 なりたい自分にする学校
豊かな心で	◇目指す生徒像 なりたい自分になる生徒
未来をひらく生徒	◇目指す教職員像 「なりたい」を教え導く教職員

2023年度の教育活動について

校長 矢部智史

麗らかな春の日差しが、季節の花をより一層引き立て、見るものすべてが輝きに満ち溢れています。華やかさと生命の力強さを感じる中、新入生180名を迎え、全校生徒数498名で令和5年度がスタートいたしました。76回目の新年度を迎えるにあたり、新たな教職員も含め、教職員一同、気持ちを引き締めて教育活動に邁進いたします。遅れましたが、私は本年度砂中学校から本校へ異動してまいりました「矢部智史」と申します。どうぞよろしくお願いいたします。



さて、本年度から本校では初雁中学校運営協議会が設立され、コミュニティスクールとしての新たな一歩を踏み出しました。学校・家庭・地域が連携、協働し地域とともにある学校づくりを目指します。それと同時に保護者や地域の皆様に愛される学校づくりを推進してまいります。今年度の学校経営等については、学校運営協議会の承認を得て、実施する運びとなります。目指す学校像は、昨年度同様「なりたい自分にする学校」とし、具体的なイメージとして「生徒一人ひとりのよさが認められる学校」「生徒が学ぶ喜びを実感できる学校」「厳しさの中に温かみのある学校」「地域と共に生徒を育てる学校」を目指すことといたしました。これらの目標を具現化することによって、保護者や地域の方々から信頼される学校を築いていきます。その際、「学校教育の充実」「学校の組織力の向上」「安全・安心な学校づくり」の3つをチェックポイントとし、学校経営・学校運営等を進めてまいります。

特に、本年度力を入れたいのは「地域の教育力を生かし、郷土への愛着と誇りを育む教育の推進」です。ここ数年、常に新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされる中での教育活動は困難を極めました。また、地域との交流の機会も限定されたものとなりました。現在もなお新型コロナウイルス感染症の脅威が完全に払拭されたわけではありませんが、安全安心な学校経営を柱にしつつも、生徒が自校や郷土に愛着を持ち、次代の担い手としての資質を育む教育を推進していく所存です。何卒、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。